

図書館だより

NO. 120 2008年 2月号
(2008年2月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

特別整理期間のお知らせ

今年度も、早いもので特別整理期間の季節となりました。特別整理期間のことをかつては「曝書(ばくしょ)」といって、書物を虫干しして点検等をしていました。現在では「蔵書点検」といいます。主な作業内容は、はつかいち市民図書館の全ての蔵書約20万冊を携帯式のバーコード読み取り機で1冊ずつ読み込み、そのデータからコンピューター上の所蔵情報と実際の棚の情報を照合します。この作業により、利用者端末で検索して棚にあると表示された不明資料を見つけ出したり、正しい位置に本を配置することで不明資料になることを事前に防いだりします。また、実際に本が紛失していることも発見できます。その他の業務として、利用状況を考慮しながら、より利用しやすいように館内の書架を移動したり書棚のサインを変更しています。

特別整理期間は、より一層、利用者の方に喜んでもらえるような図書館作りのための準備期間でもあります。閉館期間中はご不便をおかけしますが、ご理解ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。「はつかいち市民図書館」や「さいき図書館」の休館中は「大野図書館」が開館していますので、ご利用ください。

【特別整理期間】

はつかいち市民図書館 2月19日(火)～2月29日(金)

はつかいち市民さいき図書館 2月26日(火)～2月29日(金)

今月の展示

<さくらびあ展示>

『さくらびあ物語』—オペラに関する本—

さくらびあ市民オペラ第10回コンサート「～オーケストラの響き～ オペラの輝き、オペラの夢！」が2月17日に開催されます。オペラに関する本を展示しています。

<中央展示>

『ご当地小説を楽しもう!』

47都道府県と広島県内の市にゆかりのあるご当地小説を集めて展示しています。

<児童展示>

『字のない絵本、さがす絵本』

絵を見るだけで、おはなしの世界を想像してみると…。絵の中に隠されている何かを探して感じてみましょう。

<テーマ展示>

『2月22日…にゃんにゃんにゃんで猫の日』

猫に関する本を集めて展示しています。

みなさんからの「私のすすめる本」も引き続き募集しています。ご応募お待ちしております。

図書館員のすすめる本

一般書

『深い河（ディープリバー）』

遠藤周作／著 BF/E 講談社

磯辺・美津子・沼田・木口・大津の6人の登場人物は、それぞれ思いがあってインドへのツアー旅行に参加する。亡くなった妻の生まれ変わりを信じてインドに来た人、旧友の消息を訪ねてインドに来た人。さまざまな苦しみを背負った登場人物たちの何かに救いを求めている姿に、著者遠藤周作の生き様を投影させているような作品である。

「深い河」はまぎれもなくガンジス河である。人間の迷い抜いた全ての苦しみが、この深い河に流されていくのなら私もインドへ行ってみたくなった。

(図書館職員)

一般書

『「社会を変える」を仕事にする』

駒崎弘樹／著 335.8/コ 英治出版

学生時代はITベンチャー企業の社長だった著者が一転して、「日本社会の役に立ちたい」と社会起業家になった。「病児医療」という保育業界最大の難問を解決するため、NPO法人を立ち上げたが、行政や地域の壁にぶつかり一度は挫折。しかし事業をすすめる上で出会った人々による励ましや手助けで「社会を変える」を仕事にするという自らの夢を実現する。国や自治体だけが「社会をよくする」のではなく、「気づいた個人」が事業を立ち上げ社会問題を解決できる時代がきたことを見事に証明している。進路に悩む高校生や大学生にもぜひ読んでもらいたい。

(図書館職員)

今月の新着 大人の本

図書館には1カ月に約700冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆☆ [図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます](#) ☆☆

『私は私をあきらめない～家族トラウマを超えて～』

外川智子・船田真帆／著 メディアアート出版 146.8/ト

『知らなかった！驚いた！日本全国「県境」の謎』

浅井建爾／著 実業之日本社 291.0/ア

『訴訟は本人で出来る（2007年版）』

石原豊昭・石原輝・平井二郎／著 自由国民社 327.2/ソ

『なんとなく就活している君へ』小布施典孝／著 大和書房 377.9/コ

『加齢に克つ！サビない体のつくりかた』米井嘉一／著 草思社 498.3/ヨ

『メタルカラー列伝“トヨタ世界一時代”の日本力』山根一真／著 小学館 502.1/ヤ

『ムラは問う 激動するアジアの食と農』中国新聞／著 農文協 612.2/ム

『お帰りなさい朝青龍』内館牧子／著 朝日新聞社 788.1/ウ

『すべては音楽から生まれる』茂木健一郎／著 PHP研究所 S760.4/モ

『雅楽』鳥居本幸代／著 春秋社 768.2/ト

『知っ得 幻想文学の劇場』国文学編集部／編 学燈社 904/シ

『小林秀雄の恵み』橋本治／著 新潮社 910.2/コ

『人ったらし』亀和田武／著 文芸春秋 S914.6/カ

『わが孫育て』佐藤愛子／著 文芸春秋 914.6/サ

『キュア』田口ランディ／著 朝日新聞社 F/タ

『ワンちゃん』楊逸／著 文芸春秋 F/ヤ

あたらしく入った本 こどものほん

『きんようびはいつも』

ダグ・ヤカリノ作 青山南訳 ほるぷ出版 E/ヤ

金曜日の朝は、ぼくとパパには特別の日。雨の日も風の日も、ふたりでゆっくり散歩をして、いつものレストランへ。そこで朝ごはんを食べながら、ふらりいろいろな話をします。親子の日常を大切にしていきたい気持ちが伝わってきます。

『和菓子のほん』

中山圭子文 阿部真由美絵 福音館書店 596/ナ

真っ白な雪や春の訪れを予感させる紅梅は冬の和菓子、春は菜の花やたんぽぽの姿が形づくられます。和菓子は日本の四季の移り変わりを、色や形で巧みに表しています。おいしいだけでなく、季節感や人々の夢、願いが込められている和菓子の材料や作り方も紹介されています。

『ふたりでおるすばん』

いとうひろし・さく 徳間書店 913/I

弟が生まれてから、あたしの幸せはうばわれてしまった。弟はいまや、にくたらしい悪魔だ。ある日ふたりで留守番をすることになったあたしは、弟をだまして、めしつかいにした。姉弟のやりとりがユーモラスなお話。『ふたりでまいご』の姉妹編。

『四字熟語ショウ』

中川ひろたか文 村上康成絵 ハッピーオウル社 E/Δ

「身から出たサビ」を四字熟語でいうと「自業自得」。「一念発起」「順風満帆」など、賢いけれど愚かな人間の行動を漢字四文字で表した四字熟語の意味を文章とイラストでわかりやすくユーモラスに描く。

『ウォートンとモートンの大ひょうりゅう』

ラッセル・E・Iワグネル作 ローレン・ディ・フィオラ絵

佐藤涼子訳 評論社 933/I

ざあざあと雨が降り続く中、ウォートンとモートンはハチミツを採りに出かけました。ところが、ウォートンがアライグマに捕まってしまい…。二匹のヒキガエルの冒険を描いたシリーズ6・7巻続刊中。

『キャンディ・フロス』

ジャクリン・ウィルソン作 尾高薫訳 理論社 933/リ

フロスは離婚した母親の家族と暮らし、週末は流行らないカフェを経営する父と過ごしていた。ある日、家族がオーストラリアに行くことになったが、父と残る決心をする。ところが、経営不振でカフェが人手に渡ることになり…。両親や友だちの間で、揺れ動く少女を明るく描いた作品。

『ぼくの父さんは、自殺した。—その一言を語れる今—』今西乃子著 そうえん社 368/I

『ピゼー—劇場に命をかけた男—』ひのまどか著 リブリオ出版 762/ト

『生きるって、カッコワルイこと?』芥川龍之介ほか作 くもん出版 913/I 他のテーマでシリーズあり

はつかいち市民図書館の「ちいさいこのためのおはなし会」

はつかいち市民図書館では、ボランティアの人たちと協力して毎月おはなし会を開催しています。以前は児童コーナーで開催していた「ちいさいこのためのおはなし会」を、今年度からは会議室に変更して定員を15組として同じ内容で、毎月第1・3金曜日11:00～と11:30～の2回に分けて開催することにしました。(おはなし会が始まる前にカウンターで整理券をお配りしています。)

おはなし会では絵本だけでなく、わらべうたや手遊びなどもあわせて紹介します。言葉を通じたコミュニケーションを大切にしたいひとときを親子で楽しく過ごしていただける内容となっています。以前と比べ1回あたりの参加人数が半分になり、参加者からは「参加しやすく楽しめる内容になった」という感想をいただいています。

はつかいち市民図書館では、おはなし会を行うボランティアを募集しています。「おはなし会」に興味のある人は「おはなし会日程調整会」にご参加ください。

平成20年度おはなし会日程調整会

【日時】2月7日(木) 10:00～12:00

【場所】廿日市市役所7階会議室

レファレンスってなあに？

はつかいち市民図書館の窓口カウンターには、返却・貸出・相談の3つの窓口があります。返却や貸出の窓口は利用したことがあっても、相談の窓口を利用することはめったにないのではないのでしょうか。相談の窓口のことを図書館用語で「レファレンス窓口」とも言います。相談の窓口では、利用カードも発行していますが、本来の業務は、利用者からの「相談＝レファレンス」を受け付けるところです。「図書館のどこに探している本があるのか？」という質問が大半を占めてますが、「どんな本を読みたいかわからない」といった質問にも答えています。例えば、「小学校低学年の子どもに、“平和”について説明したいのですが、どのような本がいいでしょうか？」といった質問には、図書館にある児童本というジャンルにとらわれない、幅広いジャンルから本を薦めることがあります。写真集や詩集など、図書館には“平和”に関する本がたくさんあるからです。そして、相談の窓口にいる図書館員は、さまざまな質問を受ける中で「この本おもしろかったよ」「こんな本を図書館に入れてほしい」という意見を日々耳にしています。相談の窓口は、「本と利用者を結びつける場所」でもあります。図書館は本の貸し借りだけでなく、多くの人との出会いの場でもあります。相談の窓口をどんどん利用してください！

2月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2
3	4 休館	5	6	7 ■	8	9 ☆
10	11	12 休館	13	14	15 ◎	16
17	18 休館	19 休館	20 休館	21 休館	22 休館	23 休館
24 休館	25 休館	26 休館	27 休館	28 休館	29 休館	

特別整理期間

はつかいち市民図書館 2月19日～29日
 はつかいち市民さいき図書館 2月26日～29日

◎…ちいさいこのためのおはなし会
 【対象】乳幼児
 【時間】1回目 11時～
 2回目 11時30分～
 ※整理券を相談窓口で配布します

☆…おはなし会
 【対象】幼児～小学校低学年
 【時間】11時～

場所はいずれも
 図書館会議室です

■…おはなし会日程調整会
 【時間】10時～
 【場所】市役所7階会議室

